

70周年事業

## ✳ 市制施行70周年事業の実施



令和2年4月1日に市制施行70周年を迎えるにあたり、70周年を市民の皆さまとともに祝うため、市制施行70周年記念事業として、さまざまなイベントを開催しました。

ロゴマークの決定



皆さまからのお祝い  
メッセージ



70周年  
記念ポロシャツ



富田林市は、令和2年4月1日に市制施行70周年を迎えるにあたり、70周年を市民の皆さまとともに祝うため、市制施行70周年記念事業として、さまざまなイベントを開催しました。令和2年度の市制施行70周年を盛り上げるシンボルとして、ロゴマークを募集し、103件の応募の中から、最優秀作品1点を選出し、70周年記念ロゴマークとして決定しました。また、令和2年2月11日～令和3年3月31日の70周年の市政施行日までの416日間を、市民の皆さまからお寄せいただいた写真とコメントをウェブで掲載する416企画など、70周年を市民の皆さまの声で彩りました。

## 市制施行70周年事業の実施

### 施政施行70周年応援団の設立

令和2年度の市制施行70周年イヤーを盛り上げ、市民の皆さまに富田林市への誇りや愛着心を高めていただくため、本市にゆかりのある著名な方々で結成される「市制施行70周年記念応援団」を結成。

同応援団には、学術・経済・スポーツ・お笑いなど各界から富田林市を応援していただける方々が参加されました。



70周年応援団長(花岡 伸和氏)

市制施行70周年をお祝いするさまざまなメッセージを頂き、ウェブサイトに掲載しました。

市民の皆さまに富田林市への誇りや愛着心を高めていただくため、本市にゆかりのある著名な方々で結成される「市制施行70周年記念応援団」を結成しました。

令和2年2月11日、すばるホールで、「市制施行70周年記念応援団」の委嘱式が開催され、応援団長として花岡伸和さん(元車いすマラソンパラリンピック選手)が就任されました。同応援団には、学術・経済・スポーツ・お笑いなど各界から富田林市を応援していただける50人の方々が参加され、それぞれのお立場から本市を盛り上げていただきました。

同応援団の皆さまから、市制施行70周年をお祝いするメッセージをいただき、本市ウェブサイトへの掲載、また市内公共施設内にて応援団の皆さまの写真やプロフィール、メッセージを掲載したパネル展示開催するなどし、市民の皆さまに「富田林市は素晴らしい方々から応援していただいている」ことをお知らせしました。

70周年事業

# 市制施行70周年事業の実施



小中学校の児童・生徒の皆さんに、本市が市制施行70周年を迎えたことや、「富田林市は素晴らしい方々から応援していただいている」ことを知ってもらい、本市への愛着心をはぐくみ、また自身の将来に夢や希望を抱いてもらえるよう、応援団紹介のチラシ(左写真)を作成。

応援団人数:50人

小中学校の児童・生徒の皆さんに、本市が市制施行70周年を迎えたこと、本市への愛着心をはぐくみ、また自身の将来に夢や希望を抱いてもらえるよう、応援団員紹介のチラシを作成し、各市立小中学校の児童・生徒の皆さんに配布を行いました。

# 市制施行70周年事業の実施

「市制施行70周年記念応援団」から「ふるさと富田林応援団」へ

「市制施行70周年記念応援団」は、令和3年3月31日をもって解団。

引き続き「ふるさと富田林応援団」  
として活動頂ける方は  
「アンバサダー」として就任。

富田林市に何かしらの所縁をお持ちで、富田林市を愛する全国各地の方々から本市を応援していただけるよう、令和3年2月26日より「ふるさと富田林応援団」を設置。



## ①アンバサダー

本市に所縁があり、経済、産業、学術、スポーツ、文化、芸能、国際交流、ボランティア等の分野で顕著な活躍がある者

## ②サポーター

本市外に居住し、且つ、本市を愛し、応援したいと考えている者

「市制施行70周年記念応援団」は、令和3年3月31日をもって解団しましたが、富田林市に何かしら所縁をお持ちで、富田林市を愛する全国各地の方々から本市を応援していただけるよう、令和3年2月26日より「ふるさと富田林応援団」を設置しており、「市制施行70周年記念応援団」の方々に、引き続き「ふるさと富田林応援団」としてご活動いただける方には「アンバサダー」としてご活動いただいております。



## ✳ 岩手県大槌町との連携協力に関する基本協定の締結

### 協定締結までの連携・協力

東日本大震災のカウンターパート方式による災害支援をはじめ、消防団同士の交流や栽培委員会による「奇跡の復興米」を通じた住民交流などで連携・協力を実施。

### 協定締結の目的

これまでの連携・協力をさらに幅広い分野で行い、互いの地域の発展並びに住民福祉の向上を図ります。

### 協定の概要

1. 市および町のPR・住民相互の交流に関すること
2. 地域の活性化に関すること
3. 防災に関すること
4. その他本協定の目的に沿った取り組みに関すること



東日本大震災発災時のカウンターパート方式による災害支援をはじめ、消防団同士の交流や、JA大阪南や市内ボランティアを中心とした「奇跡の復興米」栽培を通じた住民交流など、現在に至るまで関係を築いてきた岩手県大槌町と令和2年11月29日に連携協力に関する基本協定を締結しました。

協定締結はさらに幅広い分野で連携協力し、互いの地域の発展並びに住民福祉の向上に取り組むことを目的としています。

協力する事項は、

1. 市及び町のPR・住民相互の交流に関すること
  2. 地域の活性化に関すること
  3. 防災に関すること
  4. その他本協定の目的に沿った取組に関すること
- となっており、協定締結後も様々な取組を行っております。

### ※「奇跡の復興米」

東日本大震災が発生した年の2011年10月に、津波により流され瓦礫となった岩手県大槌町の民家跡で奇跡的に見つかった3株の稲穂が元となる「奇跡の復興米」は、塩害を乗り越え、地域復興のシンボルとして大切に育てられている。



## 子どもプログラム ～つなごう未来に～

富田林市の子ども達から大槌町へメッセージを届け、平野大槌町長から「大槌町の復旧復興」について講和をいただきました。



## 震災復興パネル展

東日本大震災の記憶と教訓を次世代へと継承するため、被災から復興までの記録写真パネル展示を行いました。

## 「奇跡の復興米」 学校教育田の造成

震災について、学びを深めるため、市内小学校に学校教育田を造成し、復興のシンボルである「奇跡の復興米」を栽培しました。



## 小学校間交流

奇跡の復興米の取組によりできた子供たちの絆をより深めるため、復興米の取組や学校・地域の名物について話し合うなど、オンラインで交流を行いました。



### 【子どもプログラム～つなごう未来に～富田林市と大槌町の絆】

協定締結後、初めての連携事業として、「子どもプログラム～つなごう未来に～富田林市と大槌町の絆」を開催しました。

このプログラムは、市政施行70周年記念事業として「子どもサマープログラム～つなごう未来に～富田林市と大槌町の絆」と題し、令和2年8月に、本市の子どもたちを大槌町に派遣し、被災地視察や現地での交流を通し、防災を学ぶ機会とするとともに、「大槌町の復興に向けた応援メッセージ」を届けることを目的に、市内小学校5・6年生を対象に参加募集を行いました。その後、新型コロナウイルス感染拡大により、やむなく中止したことから、「子どもサマープログラム」に代え実施したものです。プログラムでは、大槌町での交流・学習などを予定していた市内小学生を代表した4名の児童から、「大槌町への復興に向けた応援メッセージ」の朗読や、富田林少年少女合唱団の合唱が披露されました。また、大槌町長からは「大槌町の復旧・復興について」をテーマに講話をいただき、本市と大槌町との交流を深めました。

### 【「奇跡の復興米」学校教育田の造成】

東日本大震災の発災から10年が経過した2021年に、子ども達の震災への学びを深めるとともに大槌町との絆をさらに深いものにするため、市内小学校に教育田を造成し、富田林市内でJA大阪南や市内ボランティアの協力のもと栽培を進めてきた大槌町の地域復興のシンボルである「奇跡の復興米」の栽培体験を行いました。

### 【震災復興パネル展】

震災の記憶と教訓を風化させることなく未来へ伝承していくため、大槌町の記録や本市の被災地支援の記録から防災を学び、今一度災害を振り返るパネル展を市役所本庁舎及びエコールロゼで実施しました。

今なお復興に向かって歩む被災地に思いを馳せ、いつ起こるかわからない災害に対する備えについて、改めて市民の皆さんに周知するとともに、防災・現在意識の向上を目的に実施しました。

### 【小学校間交流】

富田林市立小学校で、大槌町立小学校の児童とのオンライン交流会を実施しました。奇跡の復興米の栽培を縁として実施された交流会では、お互いの市の様子や、地域の伝統文化、学校自慢などについて話しました。

児童らはお互いの発表を真剣な様子で聞き、興味がある事について積極的に質問をするなど、絆を深めました。